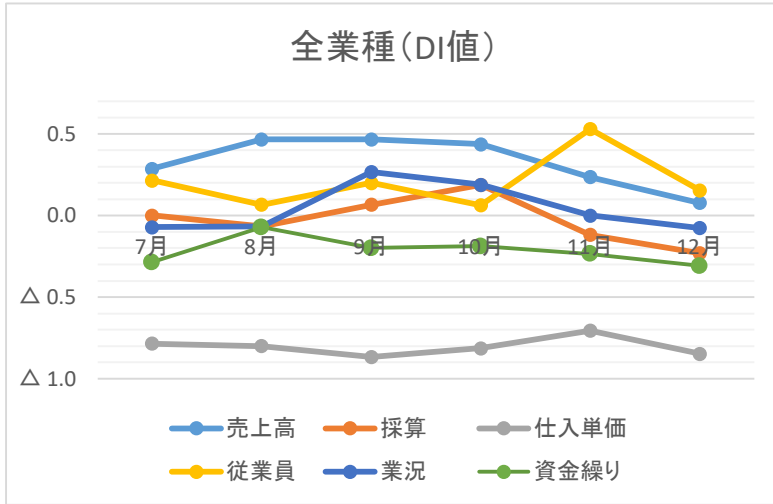


# 白河商工会議所LOBO調査結果(令和5年12月分)

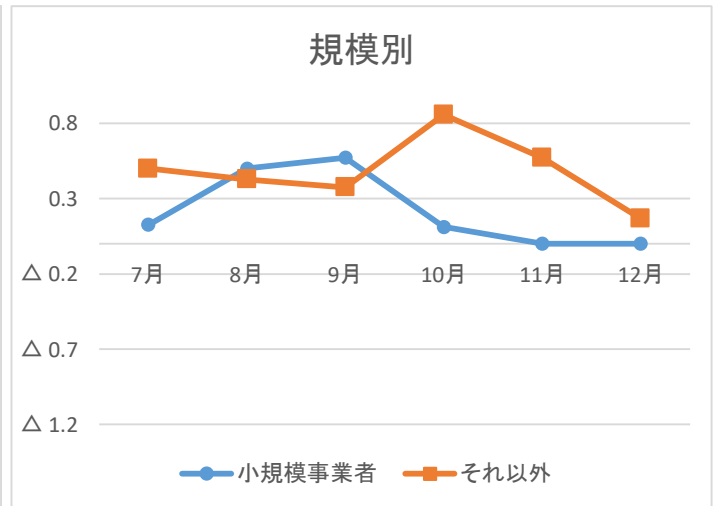
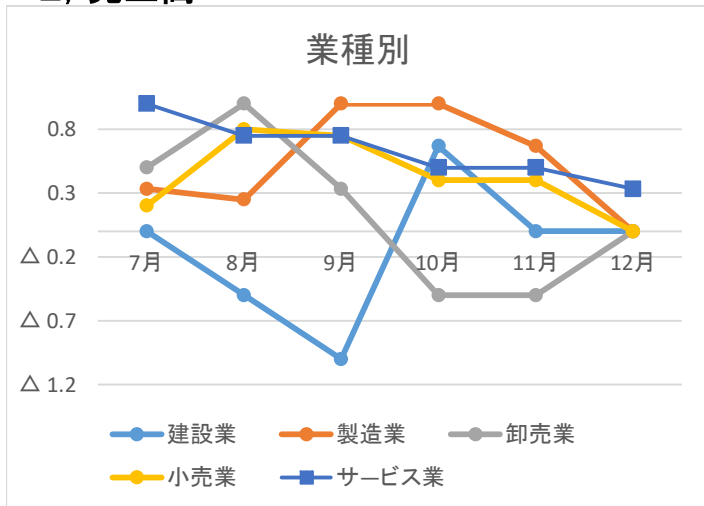
実施期間:令和5.12.11~12.20 回答事業所: 14事業所

## 1, 全業種DI値



12月の全業種DI値を見ると、売上高・業況・資金繰りは-0.1ポイント、採算・仕入単価は-0.2ポイント、従業員は-0.3ポイント下降した。

## 2, 売上高

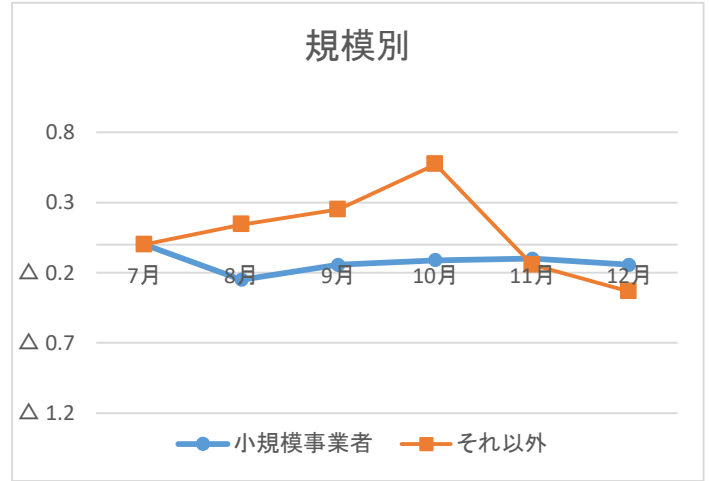
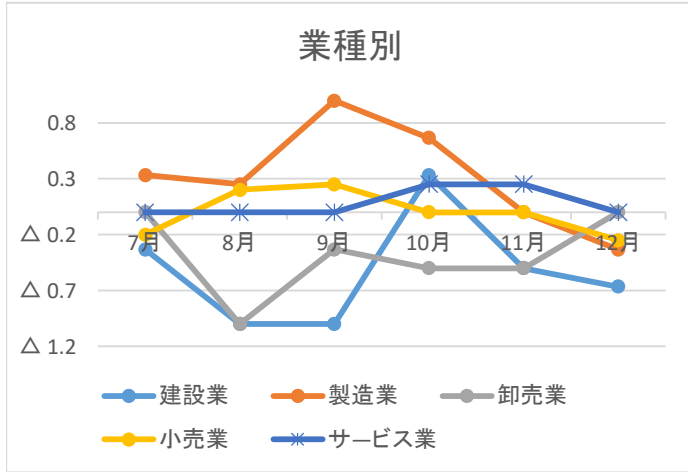


売上DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	0.3	0.5	0.5	0.4	0.2	0.1
建設	0.0	△ 0.5	△ 1.0	0.7	0.0	0.0
製造	0.3	0.3	1.0	1.0	0.7	0.0
卸売	0.5	1.0	0.3	△ 0.5	△ 0.5	0.0
小売	0.2	0.8	0.8	0.4	0.4	0.0
サービス	1.0	0.8	0.8	0.5	0.5	0.3
小規模	0.1	0.5	0.6	0.1	0.0	0.0
それ以外	0.5	0.4	0.4	0.9	0.6	0.2

全産業の売上DIは前月と比べて-0.1ポイント下降した。  
 製造業は-0.7ポイント、小売業は-0.4ポイント、サービス業は-0.2ポイント下降した。  
 建設業は横ばいであった。  
 規模別に見ると、小規模は横ばい、それ以外は-0.4ポイント下降した。

### 3, 採算

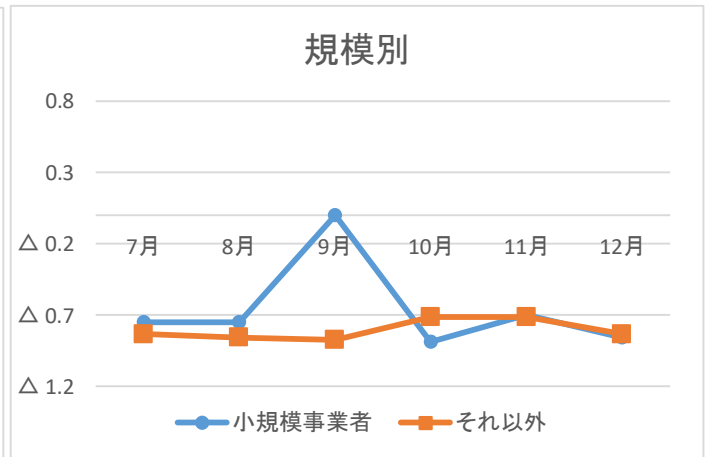
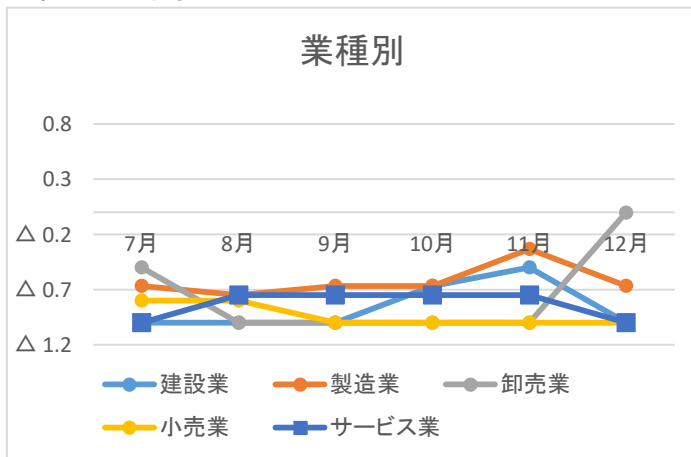


採算DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	0.0	△ 0.1	0.1	0.2	△ 0.1	△ 0.2
建設	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0	0.3	△ 0.5	△ 0.7
製造	0.3	0.3	1.0	0.7	0.0	△ 0.3
卸売	0.0	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	0.0
小売	△ 0.2	0.2	0.3	0.0	0.0	△ 0.3
サービス	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0
小規模	0.0	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1
それ以外	0.0	0.1	0.3	0.6	△ 0.1	△ 0.3

全産業の採算DIは前月と比べて-0.2ポイント下降した。  
業種別に見ると、建設業は-0.2ポイント、製造業・小売業・サービス業は-0.3ポイント下降した。  
規模別に見ると、小規模は-0.1ポイント下降、それ以外は-0.2ポイント下降した。

### 4, 仕入単価

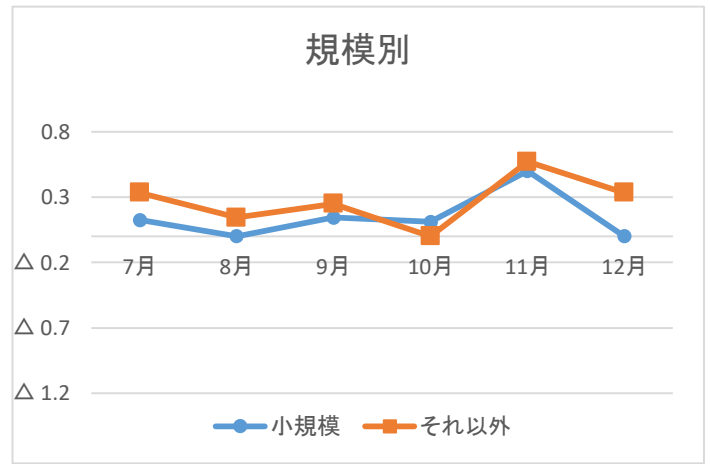
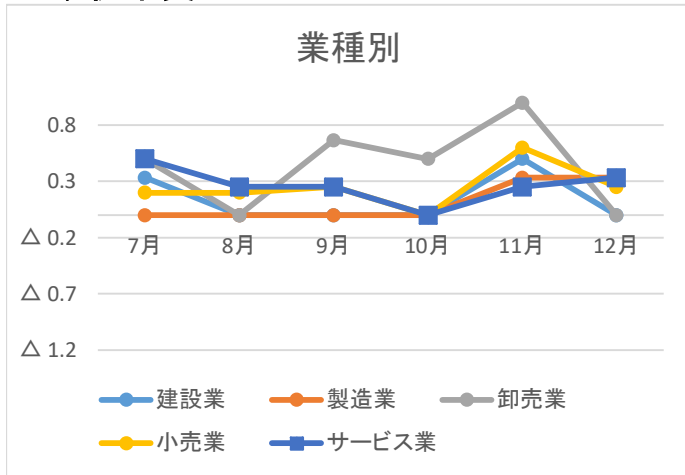


仕入単価DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.8
建設	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.0
製造	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.7
卸売	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	0.0
小売	△ 0.8	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
サービス	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 1.0
小規模	△ 0.8	△ 0.8	0.0	△ 0.9	△ 0.7	△ 0.9
それ以外	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.8

仕入単価の全産業DIは-0.2ポイント下降した。  
業種別に見ると、建設業は-0.5ポイント、製造業は-0.4ポイント、サービス業は-0.2ポイント下降した。  
小売業は横ばいとなった。  
規模別に見ると、小規模は-0.3ポイント下降、それ以外は-0.1ポイント下降した。

## 5, 従業員

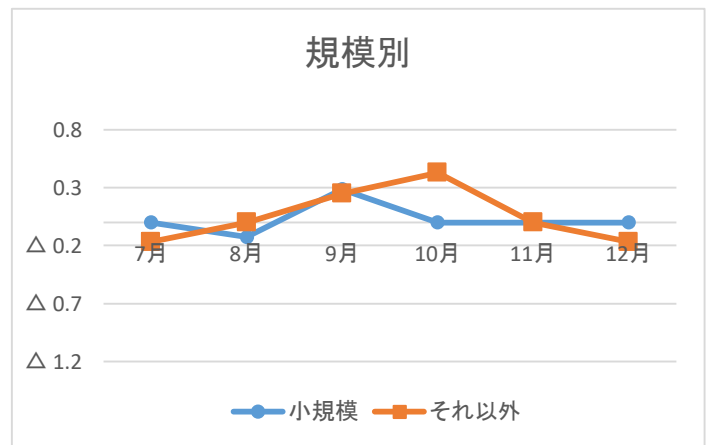
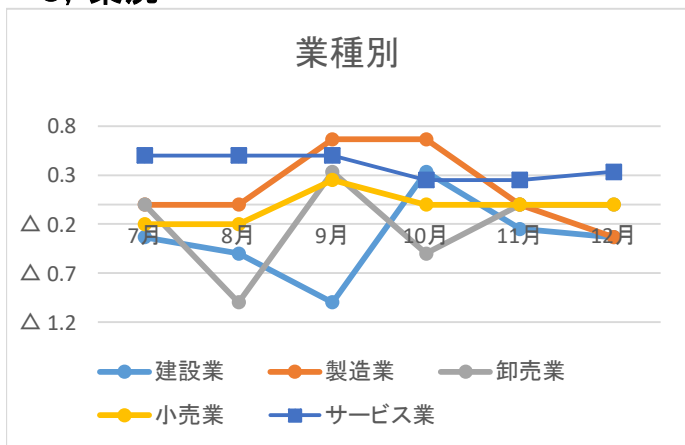


従業員DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	0.2	0.1	0.2	0.1	0.5	0.2
建設	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
卸売	0.5	0.0	0.7	0.5	1.0	0.0
小売	0.2	0.2	0.3	0.0	0.6	0.3
サービス	0.5	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3
小規模	0.1	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0
それ以外	0.3	0.1	0.3	0.0	0.6	0.3

従業員の全産業DIは、-0.3ポイント下降した。  
業種別にみると、建設業は-0.5ポイント、小売業は-0.3ポイント下降した。  
製造業・サービス業は横ばいであった。  
規模別にみると、小規模は-0.5ポイント、それ以外は-0.3ポイント下降した。

## 6, 業況

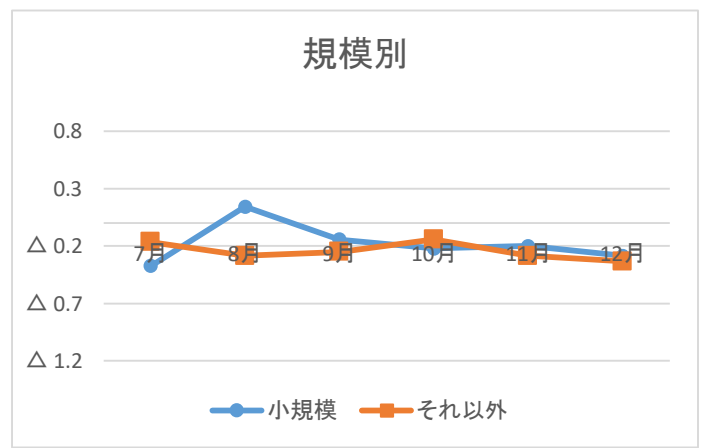
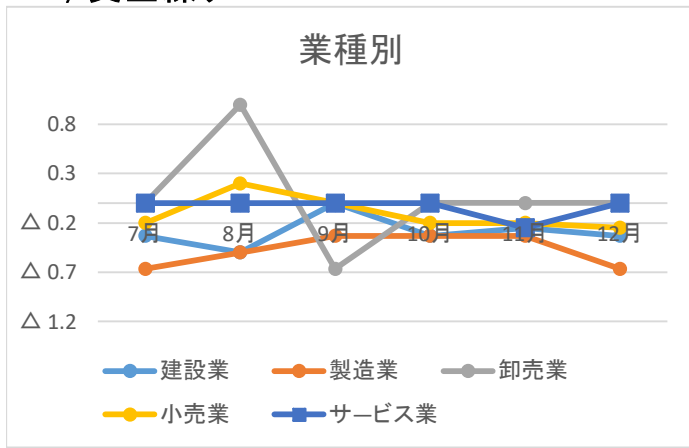


業況DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.1	△ 0.1	0.3	0.2	0.0	△ 0.1
建設	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.0	0.3	△ 0.3	△ 0.3
製造	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	△ 0.3
卸売	0.0	△ 1.0	0.3	△ 0.5	0.0	0.0
小売	△ 0.2	△ 0.2	0.3	0.0	0.0	0.0
サービス	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3
小規模	0.0	△ 0.1	0.3	0.0	0.0	0.0
それ以外	△ 0.2	0.0	0.3	0.4	0.0	△ 0.2

業況の全産業DIは-0.1ポイント下降した。  
建設業・小売業・サービス業は横ばいであった。  
一方で、製造業は-0.3ポイント下降した。  
規模別で見ると、小規模は横ばい、それ以外は-0.2ポイント下降した。

## 7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3
建設	△ 0.3	△ 0.5	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
製造	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7
卸売	0.0	1.0	△ 0.7	0.0	0.0	0.0
小売	△ 0.2	0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3
サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	0.0
小規模	△ 0.4	0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3
それ以外	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3

資金繰りの全産業合計DIは-0.1ポイント下降した。

業種別に見ると、サービス業は+0.3ポイント上昇した。一方で、製造業は-0.4ポイント、小売業は-0.1ポイント下降した。

建設業は横ばいとなった。

規模別に見ると、小規模は-0.1ポイント、それ以外は横ばいであった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

**【付帯調査】**

1. 本年の春闘における中小企業の回答額は総平均で7,864円・2.94%アップ、最低賃金額は全国加重平均で1,004円・43円アップと、コロナ禍からの回復等を背景に非常に高い引上げ水準となる一方、物価高や人手不足を背景に”収益が十分な水準にない中でも賃金を引き上げざるを得ない(いわゆる防衛的賃上げ)”との声も多く聞かれます。

賃上げに関連して、以下の5点についてお伺いします。

1-1. 貴社の正社員における2023年度の賃上げの状況

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	1			1	1	3
②業績の改善がみられないが(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	2			1	1	4
③賃金は同水準を維持する		1		1		2
④賃金は引き下げる		1				1
⑤現時点では未定		1				1
⑥回答不能					1	1

※質問1-1で選択肢1~3と回答した方にお伺いします。

1-2. 貴社の正社員における2023年度の賃上げの状況について、選択肢から1つお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した(予定含む)	1			2		3
②ベースアップを実施した(予定含む)	1			1	2	4
③手当の新設・増額(予定含む)						0
④一時金(賞与)を増額した(予定含む)						0
⑤回答不能		3		1	1	5

※質問1-1で選択肢1~2と回答した方にお伺いします。

1-3. 貴社の正社員における2023年度の賃上げ率について選択肢から1つお選びください。

①5%以上						0
②4%以上5%未満	1					1
③3%以上4%未満	1			1		2
④2%以上3%未満	1				2	3
⑤1%以上2%未満						0
⑥1%未満						0
⑦現時点では未定				1	1	2
⑧回答不能		3		1		4

※質問1-1で選択肢1~2と回答した方にお伺いします。

1-4. 賃上げを行う理由について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①主要な商品・サービスに一定の価格転嫁が行えたため				1		1
②人材確保・定着やモチベーション向上のため	2			2	2	6
③最低賃金が引き上げられたため					1	1
④新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げたため						0
⑤時間外労働の削減により社員の手取り額が減少しているため				1		1
⑥社会保険料の増加により社員の手取り額が減少しているため						0
⑦他社より低い賃金になっているため					1	1
⑧数年来、賃上げを見送っていたため						0
⑨物価が上昇し、社員の可処分所得が減少しているため	2			1	1	4
⑩税の優遇措置(所得拡大促進税制)が利用できるため						0
⑪その他 → 具体的内容はコメント欄に記入						0
⑫回答不能		3		1	1	5

※質問1-1で選択肢3~5と回答した方にお伺いします。

1-5. 正社員の賃上げを見送るもしくは未定とする理由について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①エネルギー・原材料価格等の高騰分を十分に価格転嫁できず収益が圧迫されているため		2				2
②今後の経営環境・経済状況が不透明なため		2				2
③業績の改善がみられないため(見込み含む)		3		1		4
④社会保険料の増加により会社負担が増えているため		1				1
⑤すでに他社と同水準(もしくはそれ以上)の賃金になっているため						0
⑥増員(予定を含む)による総人件費の増加を抑えるため						0
⑦新商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため		1				1
⑧非正規社員の賃金(時給等)を引き上げる一方で、総人件費の増加を抑えるため						0
⑨研修や福利厚生の充実を優先させるため						0
⑩その他 → 具体的内容はコメント欄に記入						0
⑪回答不能	3			2	3	8

(コメント欄)

2023年度ベースアップを実施した(予定含む)企業の理由としてあげられたのは、人材確保・定着と物価上昇の二つの理由選択が多かった。  
 そのような中、諸経費の上昇が大きく利益が上がらないという意見もあった。